

当院で尿管ステント留置を受けられた患者さんへご協力をお願い

このたび当院では、「尿管ステントの有用性」に関する研究を、倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を順守して実施させていただくことになりましたので、ご協力の程お願い申し上げます。

1. 研究課題目 (R06-36)

当院における尿管ステント使用の有用性についての検討

2. 本研究の意義・目的

尿路結石、尿管の圧迫などにより尿管の通過が傷害された際に、腎臓の機能を保護し疼痛や発熱といった症状の改善を目的として、尿管ステントの留置がおこなわれます。当院での通常診療において、尿管ステントの留置を必要とした患者さんの原因疾患と使用したステントの種類による有効性・安全性を把握することを目的とした後方視的な研究をおこないます。

3. 研究方法

2018年4月1日から2026年3月31日の期間に、尿管ステント留置を受けられた患者さんの診療録から、臨床情報、血液・尿検査、画像検査、治療内容、治療経過を集積して解析をおこないます。

4. 研究期間

2024年12月1日から2028年12月31日

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所・電話番号など）は一切取り扱いません。集積データは個人が特定されないよう匿名化したうえで、研究終了まで外部に漏れることが無いよう厳重に管理させていただきます。

6. お問い合わせ

本研究の対象となる方より、辞退のお申し出があった際には、適切な措置で情報の削除を行います。本研究に関するご質問やご確認などのお問い合わせは、下記までご連絡をお願いいたします。

2024年11月

研究責任者 関田 信之

船橋中央病院 泌尿器科 電話番号 047-433-2111（代表）